

平成28年4月定例教育委員会会議録

1. 開催日時 : 平成28年4月27日(火) 9時から
2. 会場 : 白井市役所 白井庁舎3階 301会議室
3. 出席委員 :

教育委員長	垂井 美千代
教育委員長職務代理者	渡辺 義弘
委員	野上 美智子
委員	神田 岳委
教育長	斎藤 克己

4. 出席職員

教育次長兼教育総務課長	廣田 誠一	学校教育課長	山田 晃世
社会教育課長	斎藤 隆生	文化・文化財課長	川野 義明
学校教育課長	姫野 敬一		
教育総務課課長代理	荻野 健	学校教育課課長代理	斎藤 正雄
社会教育課総括課長代理	口石 愛		
学校教育課指導主事	安東 憲雄	学校教育課指導主事	村松 真理
教育総務課主査	原 純子	教育総務課主事	姫野 まりな

5. 傍聴人 木村 浩二

6. 開会宣言

(事務局)

開会に先立ちまして、本日の出席委員数の報告を行います。

本日の出席委員5名、欠席委員0名で、出席委員が過半数に達しましたので、白井市教育委員会会議規則第3条の規定により本会は成立となりました。

(委員長)

ここで、事前に皆さんにお諮りいたします。本日の委員会について、1名の方から、会議を傍聴したいという申し出があります。この傍聴希望の方は、木村浩二さんです。傍聴に関しては、白井市教育委員会会議傍聴規則第2条の規定により、どなたでも委員長の許可を受ければ傍聴できることになっています。傍聴は、委員長の許可制ですが、教育委員皆さんの了解があれば許可するということにしたいと思いますが、いかがでしょうか。

(委員 許可)

(委員長)

それでは、傍聴を許可するということにいたします。

(傍聴者 入室)

(委員長)

それでは、平成28年4月の定例会を開催いたします。本日の委員会の会期は本日限りと致します。
会議録署名委員に、神田委員、渡辺委員の2名を指名いたします。

7. 教育長報告

(委員長)

次第2の教育長の報告を求めます。

(教育長)

おはようございます。4月は地震に明け暮れた月でありました。4月14日、16日に熊本の方で地震がありました。これで、それ以降の行事にかなり変更がございます。後ほど報告いたしますが、これに合わせて地震を受けて熊本の高森中学校に、下ノ江小学校から剣道で行っている子がいるんですけども、その寮に入っている子ども達19人が、板井さんと言うんですけれども避難のために下ノ江の方に見えられて、板井さんのおじいちゃんの道場って言ってたんですけども、そこにみなさん避難してきました。先週そういう情報が入って、すぐに毛布や食料とかを持って行って、ちょっと長引くんであればうちの方で子ども達だけ避難をしなくてよくなればなと思ったんですけど、結局日曜日に帰られたそうです。まだ続いているんでまた避難されればそういった委員会として出来ることをしていきたいなと考えています。

それで、お手元の4月の「行事報告」で順次報告したいと思いますけれども、1日は新年度、28年度が始まりまして、一日辞令交付等がありました。先ほど新任の事務局の職員の紹介がありましたけれども教育委員会にも新しく増えて新採用が1人という形になります。それから同じ日に校長教頭、新任採用の教職員の辞令交付式が県庁がありました。それから、右側に書いてあるんですけども職員の新採用なんですけれども事務職が13名、消防が2名、今年度はこの数であります。それから、3日にさくらマラソンがありました。エントリー1058人でした。当日雨も心配されましたけれどもなんとか実施されました。ちょうど桜が満開でいいマラソンだったなど、委員長もご苦労様でした。それから4日にはこの日から右側にちょっと書いてますが教育委員会の職員のヒアリングということで、8日まで、新たに教育委員会に来た職員との面談です。これは毎年していますので。それから、同じ日の新任校長面談ということで、臨時校長会の前に新しく来た校長先生方に臼杵が取り組んでいる重点事項について私から説明いたしました。臨時校長会でも同じように説明したんですけども、主に小中一体教育の重点を皆さんに説明いたしました。それからその日、4時半から新たに来た着任式、転任式がありました。右側にこのように書いてありますけども新任が5人と、転任、新たにこちらにみえた人が35人、計40人着任です。それから5日には高校生の奨学生、今年9名いましたので、説明会がありまして挨拶をいたしました。ずっと飛びますけど後はヒアリングとかあります。8日から、各学校の始業式が始まりになりました。翌週の11日が中学校の入学式、それぞれご苦労様でした。12日が小学校の入学式という事がありました。11日は臼杵高校の入学式が午後ありまして、私も出席しました。12日は右側にも書いてありますけども臼杵支援学校と海洋科学高校入学式がありましたがちょうどその日ちょっと出席できませんでしたが代理でそれぞれ出席いたしました。13日は定例校長会ということで、この後学校の方の説明がありますけども、出来るだけ小中一体教育で、ブロックごとできるだけ良空間の学校を、ということと今年度から臼教研と連携して学力向上、先生方の指導力アップのために一緒にやろうとの話をいたしました。今月の28日、明日臼教研の総会がありますけどもその場でも私の方から伝えたいと思っています。それから14日は公立幼稚園の入園式ですけれども、保育料の算定が変わって

ですね、非常に少なくなつて臼杵幼稚園は、今年は5人でした。野津は垂井委員長に行っていただきましたが12人ということでちょっと少なくなつてゐるんです。この日は地震があつた日です。それから、地震のために16、17日で按針サミットとその関係のイベントが予定されていましたが、中止となりました。それから、19日は定例の教頭会ということで、この日全国の学テがありましたが、教頭会については特に地震の対応についてお話しさせていただきました。それから、20日は亀城大学の入学、開級式が市民会館でありましたが、毎年ですが高齢者の熱い思いが伝わってくるような感じがしました。今年は29期生48人入学して合計で780人ということになりました。それから、21日に実は県の市町村教育長会議が予定されていましたが竹田、由布市、九重町、かなり被害を受けていてそういう関係もあって延期になりました。5月末くらいになるんじやないかと思います。22日は大学生と医学看護学生の奨学生の選考会が続いていました。右側に書いてますけれども大学生の奨学生の方は、申請者は8人おりましたが、定員として5人募集してましたので、5人ということになりました。医学生は、今年は無かったんですけども、看護学生が2人、その方々に奨学生をお渡しすることとなりました。それからその日管内の教育長会議がありました。管内ですので、大分、由布市の教育長も見えて、由布の被害状況、学校を閉鎖しててですね、もう開校していますけども、というふうな被害の状況を説明いただきました。この日教育事務所の取り組みについて説明があつたんですけども教科書の選定について色々な意見がありまして、なんかかといふと小学校の道徳の教科書が、今年検定があつて29年度に選定があるということなので、中学校は1年先なんですけれども、そういったことがありましてそれについてちょっと色々協議されました。それから今週に入つて、今日の教育委員会と、明日の臼教研の総会で、先ほど言いましたように教育委員会と一緒に併せてやって行こうと言う話で29日は臼杵っこガイドのデビューになります。石仏の方で4人、この日が初めての実践となりますので、顔を出してみたいと考えています。以上、4月の報告です。

(委員長)

教育長の報告が終わりました。入学式等があつて特に感動したこととかがあつて皆さんにお伝えすると言う事でした。よろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

8. 議案

(委員長)

続いて、第3の協議に入りたいと思います。第19号議案「臼杵市就学支援委員会規則の一部改正について」説明をお願いします。

(学校教育課長)

それでは、第19号議案臼杵市就学支援委員会の規則の一部を改正する規則ということで、臼杵市就学支援委員会規則の一部改正について、臼杵市教育長に対する事務委任規則（平成17年臼杵市教育委員会規則第6号）第1条第2号の規定に基づき、議決を求める、とのことで変更点は、第3条第2項中「委嘱」の次に「又は任命」を加える。

第4条第1項中「1年」を「2年」に改める。

第7条第1項中「分担するため」の次に「必要に応じて」を加え、同条第2項中「委嘱」の次に「又は任命」を加える。

第8条第2項中「教育総務課」を「学校教育課」に改める、になります。

変更の理由につきましては、今まで任期等で委嘱ということになっていましたが、お願ひすると言うこともありますて任命ということで文面を付け足させていただきました。今まで就学委員会の調査員の方、委員の方々が一年という任期でしたがその都度確認、それからご依頼という形を取っておりましたが、今年度より二年ということで改めさせていただきまして就学委員会の充実を図ると言う意味を込めまして、こういった形にさせていただいております。それから、第7条「分担するため」の次に「必要に応じて」を加えることにつきましては学校教育課の方も加わるということで、こういった必要に応じてということで付け加えさせていただきます。それから、主にこの支援委員会の方は学校教育課の方が中心に今までやっておりますので、ここのところを教育総務課の方を学校教育課というところで改めさせていただければと考えております。よろしくお願ひいたします。

(委員長)

人数や任期についての見直しをするために説明がありました。質疑等がありましたらお願ひします。

(質疑なし)

(委員長)

続いては、第20号議案よろしくお願ひします。臼杵市特別支援連携協議会設置要綱の一部改正についてご説明お願ひします。

(学校教育課長)

臼杵市特別支援連携協議会設置要綱の一部改正についてということで、よろしくお願ひします。第2条第4号中「その他」を「前各号に掲げるもののほか」に改める。第3条第1項中「または」を「又は」に改め、同条第4項を削る。第6条第2項中（以下、「専門部員」という。）を削る。

第8条を次のように改める。第8条 協議会の庶務は、臼杵市教育委員会学校教育課において処理する。別表を次のように改める。ということで、そこに別表を刷っております。これにつきましては、今年度より合理的配慮を要すると言うことで特別支援の方はもちろん、今回の重点目標でも挙げておりますので、特別支援配慮の強化ということで、このように改正をお願いしたいと言うことで考えておりますので何卒よろしくお願ひします。

(委員長)

説明が終わりました。そういう風に整備をする必要があると言うことで変更をするという事です。

第20号議案については、承認してよろしいでしょうか。

(委員承認)

(委員長)

第21号議案「臼杵市図書館協議会委員の任命について」説明を求めます。

(社会教育課長)

臼杵市教育長に対する事務委任規則第1条第13号の規定に基づき議決を求める、とあります。今回の臼杵市図書館協議会委員の任期途中でありますが、学校校長会の図書館教育班長がお代りになられた

ということで、仲村善彦校長先生、市浜小学校の校長先生ですね、が代わられたということでですね、今回新たに任命をお願いします、以上です。

(委員長)

ご説明があった通りです。担当者の変更ということで説明がありました。よろしいですか。

(委員承認)

それでは、第22号議案「臼杵市内キリストン遺跡調査指導委員会委員の委嘱について」説明を求めます。

(文化文化財課長)

臼杵市内キリストン遺跡調査指導委員会委員の委嘱についてということで、この4月30日で臼杵市内キリストン遺跡調査指導委員会委員の任期が満了となりますので、引き続き委嘱するものであります。特に、名簿にありますけども合計8名の方を今回引き続き委嘱をするものであります。現状からいきますと、1名減となっております。現在は9名の委員ですが、5月以降は8名の委員で、2年任期で行きたいと考えております、よろしくお願ひします。

(委員長)

任期満了ですが、引き続き委嘱ということで、1名減ということでの提案です。説明が終わりました。よろしいですか。

(委員承認)

第23号議案「学校運営協議会設置校の指定について」説明を求めます。

(学校教育課長)

学校運営協議会設置校の指定についてということで、本年度そこにあります以上の3件の方をお願いしたいと考えております。臼杵小学校、臼杵南小学校、南中学校、今年度につきましては新たに臼杵小学校を設置しております。よろしくお願ひします。

(委員長)

23号議案説明があつた通りでございます、よろしいですか。

ここで、追加議案の提出がありましたので第24号議案、第25議案について協議いたします。

まず第24号議案「臼杵市教育委員会感謝状贈呈規程の制定について」説明を求めます。

(教育総務課長)

それではただいま追加議案となりました第24号議案「臼杵市教育委員会感謝状贈呈規程の制定について」説明をいたします。臼杵市教育長に対する事務委任規則第1条第16号の規定に基づき議決を求めるものであります。これは今まで臼杵市の教育の発展、功績のあった者に対しての感謝状の贈呈について決まりがありませんでしたので、今回改めて条文として規定を新たに設けようとするものであります。内容につきましては、趣旨といたしましては先ほど申し上げましたように教育の発展に功績のあつた者に対し、謝意を表するために感謝状を贈呈すると言うことです。感謝状贈呈の対象としましては第

2条に掲げておりますけども、臼杵市の教育の普及及び振興について特に功績のあったもの、臼杵市の体育、芸術等の文化活動において特に優秀な成績をあげたもの、前2号のほか、委員会が感謝状を贈呈することが適當であると認めるもの、こういった3項目について功績があつた人たちに感謝状の贈呈を贈るものであります。3条に該当することが見込まれる者が居れば、個人法人団体、感謝状の内申書を委員会に付議するといった内容です。で、4条で内申された議案について教育委員会で審査をいただいて、被贈呈者を決定する、そういう内容となっております。施行は公布の日からで、議決がありましたらその日から施行する内容となっております。以上で説明を終わります。

(委員長)

説明が終わりました。質疑等がありましたらお願ひします。

(教育長)

ちょっとすみません、急遽感謝状贈呈規定というものを作らせていただきました。というのも、後ほど25号議案で提案があると思うんですけども、吉田稔さんが急遽亡くなられまして、吉田さんは皆さんご存知のように文化面で色々臼杵市にご貢献いたしております、吉丸一昌記念館を作る時に、自分が持っている展示品を寄贈してくださりました。さらに吉田さん自身も文化財調査委員として20年近くされていました、そういうこともあってですね、何も教育委員会で出来ないのもおかしいなと、まあ亡くなられた後なんですかれどもぜひ感謝の気持ちを委員会として伝えたいなあという気持ちがありまして、規定を提案させていただきました。

(委員長)

第24号議案については、こういったものが今まで全くなかったと言う事で、きちんと制定をしておくと言う事でのご説明がありました。よろしいでしょうか。

(委員 承認)

第25号議案「臼杵市教育委員会感謝状贈呈候補者について」説明を求めます。

(文化文化財課長)

第25号議案「臼杵市教育委員会感謝状贈呈候補者について」ということで、今承認をいただきました第24号議案に基づきまして、吉田稔さん、5Pの方にありますけども内申書の方をおねがいしたいと思います。ご存じのようですね、経歴を書いていますけども、大分県自然指導委員それから音楽連盟、多方面に渡っての色々なご功績があつたということ、特に文化財関係、文化財調査委員の方を長年歴任されております。それに伴いまして、臼杵磨崖仏修理委員会委員も歴任しております。それから吉丸一昌記念館開館に関しましても色々な貢献をいたしましたと、候補者ということで皆さんに内申の方を推していただきたいと言うことです。以上です。

(委員長)

説明が終わりました。よろしいですか。

(委員承認)

(委員長)

続いて、学力向上というところに入りたいと思います。ご説明お願いします。

9. 学力向上について

(社会教育課長)

学力向上の取組ということで、放課後子ども教室について、本日ワンペーパーで資料の方をお配りしました。昨年度の平成27年度から学校教育課から社会教育課担当を移した形の中で放課後子ども教室について、取組を進めてきました。27年度から一定程度成果を収めたと考えております。その中で28年度につきましても今年度の放課後子ども教室を開始したいと考えております。目的につきましてはご存じだとは思いますが、子ども達の学習習慣の定着、また基礎学力の向上といった形で、学校、家庭、地域が連携して教育活動を推進していく、という風に考えております。対象につきましては昨年度と同様です。小学校2、3年生の希望者ということになっています。ただあの、各学校の協議の中、希望がありましたらその他の学年についても受け入れという形を考えております。また学習時間につきましても、昨年と同様です。開始期間は5月から、2月末を予定しています。このような中、現在各学校に協育活動サポーターの募集をさせていただいている。今月いっぱいを考えております。このペーパーでは四角で囲んでおりますが、来月の5月11日ですが、そういう中でご協力いただく指導員のサポーターの方々に事業の趣旨と、リソースをはかりたいということで、連絡会を開催したいと言う風に考えております。

そしていよいよ5月18日の水曜日から開始という風に考えております。裏面をご覧ください。現時点では教室、各学校の児童数、参加人数は集約中ですので記入しておりません。この辺で何点かご報告をさせていただきたいと考えております。まず佐志生小学校の方ですけれども、今まで2、3年対象でしたが地域振興協議会の方から是非学校と連携してこちらの管理内でやって行きたいとお話がありましたがので全学年に対してやりたいなあという話をしておりました。そういうものも受けまして、一応学習指導員の方を三名に変えてやりたいなあということで今現在検討中であります。それから、上北小学校ですが昨年まではすえひろ保育園さんのご協力をいただいてやっていたのですが、今年度は上北小学校内で実施の方を、という形での学習指導であります。それから実は川登小学校ですが、全総数が2名、対象の学年ですら2名という形になってしまいまして、そこでこの2名につきましてですが1人がスポーツ少年団に入っていると言う形でこれにはなかなか来れないと言うことです。もう1人は、通学にスクールバスでなく通常のバスを使うことで、なかなか時間が合わないと言うことで希望はなかなか難しいと言うことで話をしています。今年度は川登小学校の方が実施はできないと考えております。もうちょっと期間がありますが、詰めて行って、5月18日の開始に備えたいと言う風に考えております。

(委員長)

学力向上の一環にということで始まった放課後子ども教室が5月18日からスタートするというこ

とで、ご説明がありました。ご質問等ありますか。

(委員承認)

それでは、先ほど教育長の方から臼教研との一層の連携を、とのことでなにか今年度は具体的にこういう事を提案していくとかこういう事をお願いしていくとかそういったことがありましたら少し話をしていただけるとありがたいと思いますがいかがでしょうか。

(異議なしの声)

(学校教育課長)

それでは、学校教育課からですが今年度より、学力向上支援員に中学校国語というものを新しく入れております。今年度は、授業の達人に学ぶと言う新たな取り組みを行うようにしています。筑波大学附属小学校の方から国語、算数の教科の先生を臼杵市にお呼びして、多くの学びを得たいという風に考えておりますが、その他中学校の数学、それから理科の教科部会で大分大学と連携をはかりたいという風に考えております。その中で、臼教研の方の中学校の数学部会、理科部会との連携ということで臼教研と繋がり連携をして授業力向上を目指して行きたいと言う風に考えておりますし、臼教研の方の研究指定を野津中学校の方が受けておりますが、アクティブラーニングの研究発表をするようになっておりますが、その際にも中学校と一緒に研究を作り上げたいと言う風に考えている次第であります。

(委員長)

はい、ありがとうございます。例えば27年度の学校訪問だとか学力テストの細かい分析だとかで教育委員さん方がお感じになっていたことがありましたらおっしゃられてください。

またおいおい学力向上について常に毎回教育委員会で話をして行くと言うことで28年度もその方針が良いでしょうね。学力向上については毎回話をして行くということですので、学校の方も5月から始まるわけですがそれについてもお感じになったことは出していただくということになっていますし。

(教育長)

ちょっと補足ですけれども教育委員会の話ですけれども、3月31日ですかね、年が変わる時に臼教研の新しい会長、副会長、それから事務局の方と直接お話をさせていただきました。何が言いたかったかというと臼杵市教育研究協議会任意の団体があって、それぞれ先生達の指導力を高めるために研究を進めている。それは、市の教育委員会がすることと同じことを別の場でやっているだけです。それなら、先生達の指導力アップ、それから子供たちのために取り組むことを一緒にやろうじゃないかと話をさせていただきました。会長、副会長、以下皆さん同じ顔ぶれで、それで一番大事なのはやっぱりお互いが意見を同じ場所で囲むということですね。

それで、指導主事の方も是非入っていただきたいと思っています。いきなり全てというのは大変だと思うので、部会のあり方ですかね、いくつもの教育部会とかあるので、かといって先生達が沢山いるわけではないので、学校によっては少なかつたりするんで、そういうことも人が話しあって見直すことや、すこしずつ変えられることはえて行って、同じ方向にせっかくやるのであればやって行きましょうよという話。それを今年度から取り込んでいく。まずは指導主事の教科部会の方も入って行こうということで話を今進めております。具体的にどんなふうにして行きたいと言うのがあればご意見いただきたいしその都度また報告したいと思います。

(委員長)

かつてにくらべて、規模が小さくなっていると。これはもうどうしようもない、やむを得ないことです
が、そんな中で若い先生がどうのこうのということはありませんが、経験が浅い方が1人で、例えば
中学で言つてですね、1人で全校の1教科を持たなければならぬというようなつらさというか、そ
んな中で教材研究が上手くできないとかそういう悩みとか研修を深める一番いい機会が臼教研であつ
てほしいという願いはずっと持ってきております。その辺は是非、教育委員会も臼教研の充実とい
うようなことを色々な所で言いながらその機会を確保していくことが大事ではないかと考えています。ぜひ
臼教研との連携を教育委員会は前面に出して、これがすぐに学力向上にという訳には行かないかもしれ
ませんがやっぱり若い先生が自信を持ってサポートしていただいたとかヒントをいただいたとかいう
ことで授業に向かっていくことが出来ればそれはいいことだと思いますので是非、指導主事も忙しいと
は思いますけども教科部会とか校内研究に意欲的に走っていただければとお願いしたいと思います。

(教育委員長職務代理者)

いいですか。

(教育長)

はい、どうぞ

(教育委員長職務代理者)

臼教研との連携についてですが、多分総会が5月に行われると思うんですけども、その時に今によ
うな提案をされると思うんですけども、ともすれば教育委員会が関わってくるとなると、先生達から
それは構えがちになるので、その辺の関わり方について配慮をする必要があるかなと思います。一緒に
やるぞ、ということで、教育委員会が臼教研に関わって来るのかという単純な方向で取られるとせっか
くの思いが行政の方から入って来られたと言う思いになってしまふのでその辺の連携の仕方について
は配慮をする必要があると思うので。

(委員長)

その他には何かありませんか。はい。

(学校教育課長)

それでは、学校教育課の方ですが、資料の方の説明を少しあせていただければと考えております。時
間がありませんのでこちらの方は本年度の重点項目が資料にありますので、これにつきましては一読さ
れていただき、気になる点についてはご指導いただきたいと言う風に思います。本年度、小中一体教育
と授業力向上ということで、小中一体ということで本年度は定着と発展ということさらに取り組みを
深めるとともに、こちらについて、前後にチラシを配布して各家庭、各地域への呼びかけというのも図
りたいと言うことを考えております。今冊子になっておりますが、これを裏表のA4のチラシにいたしま
して全校配布と言うことを5月中に考えている次第であります。それから、授業力向上プロジェクト
につきましてはこちらの方で1枚プリントを準備しております。先ほど説明が足りなかつた部分もあり
ますが本年度は授業の達人に学ぶということで、小学校中学校と共に授業を学ぶということで取り組み

の方を考えているところです。今スケジュールを調整中ですので、具体的なアプローチを試みながら先ほど話が出ておりますように臼教研とも連携を深めながらやって行きたいと言う風に考えておりますので一読お願ひします、以上です。

(委員長)

学力向上についてはよろしいですか。学習指導員に概ね退職校長と退職者という方が関わられていると思うんですが少し声の中に毎年毎年出てくるんですけれども、しゃべりでなくともいいんですけども、管理職が、あるいは担当学年の先生が少しのぞいて、がんばってる？とか、お世話になりますとかいうことも子どもたちにとってマナー指導になりますし意欲指導になると言うことに繋がると思いますので、毎回毎回言つたけれども是非校長先生とも教頭先生とも担任の先生ともですね、様子をちらっと覗くというようなことを水曜日だから研修日だからそれはできんっていうような意見もあるかもしれないんですけどもそこをうまくしてからですね、お疲れ様です、ありがとうございますとかいうようなことも必要だと思いますので。それでは以上で学力向上についてよろしいですか。

続いて教育予算についてよろしくお願ひします。

10. 教育予算について

(教育総務課長)

ご報告です。今年度予算で、学校予算の消耗品費の管理、増額をしています。理由といたしましては、義務教育においては教材費とPTA会費というか、そういうのがあるんで、できるだけ減らそうと言うことで消耗品費を増やしております。以上です。

(委員長)

お聞きのとおりです。消耗品費が増額になったと言うことです。

(学教課長代理)

すみません、先ほどの本年度の重点項目のところの6番にありましたが、スクールソーシャルワーカー活用事業ということで、色々な原因が家庭に起因しているところも近年多いです。今年度この取り組みで教育委員の野上美智子委員の方にお願いしておりますのでご了承ください。よろしくお願ひします。

(委員長)

はい、スクールソーシャルワーカーとして、野上さんが担当されると言うことです。その他ありませんか。それでは、教育予算に関して何か要望等はありませんか。

(異議なしの声)

(委員長)

先日野津幼稚園に行ったときに、野津から出ている市議会議員の方に言われたんですが、野津小のそれはもう教育委員の皆さんもお分かりになる、ここせめえなあとかお感じになられていることだとは思うんですけども、野津小学校の図書室の件ですがそれで、いつも出ますよね、私たちも見ながらここ

はくれえなあとかここはせめえなあとかですね、もうひとつ3年位前から先生がこんなに子どもが何倍もって言っていいくらい読書量が増えて一生懸命読んでるのにそれが先について図書室はどうかなりませんかねとかいうお話がありましたが先日その幼稚園をきっかけに、具体的に言うと内藤議員さんからですね、先生ここはなんとか自分たちも動くから教育委員会としても声を出していただけませんかということでお望がありました。具体的にはですね、ここがこうあって（図書館の様子を、ジェスチャーを交え説明）ここから見た時にですね、ここに狭い土地があるので、ここをこう広げてこうすればですね、できるんじゃないかという、大体わかりますかね。そういうお話がありましたので、財政に強い教育長として是非ですね。

(教育長)

私最初に行った時から、狭いでしょ。あそこを広げて、庭園っていうんですか、庭の所にちょっと出来んかということで検討させたんですね。で、金額は二千万くらいだったかな。

(教育総務課長)

プレハブでそれくらいですね。

(教育長)

ただそのプレハブの場合は建築基準ですね、簡単なのでいいからって思ったんですけど、建築基準法に通らんとね、やるんであればきっとやるべき、そこをまた財政と協議して、今は私自身は悪いと思ってるんで、きっとしたいと思います。どういう方法があるか、検討させてください。

(委員長)

学級ですね、学級文庫の充実、学校文庫の充実でバーッと置いてクラスに置いてという形でとにかく今はやってくださいという話をしたんですが、やっぱあっちから入ってもこっちから入ってもですね、大体皆様もお分かりのように、それが非常に狭いし暗いしということですね、頭の中に入れてもらえたならと思いました。以上です。その他ありませんか。

(教育委員長職務代理者)

その他、体育館に抜ける通路がなんとかなりませんか。地下通路か洞窟の中を抜けるかのようになっていますよね。

(委員長)

しかし上を通ると危ないですね。

(教育長)

あそこも、この間行ったときに雨が降った時に下が滑るというのがあって、もちろん言われるように暗い位置ですね。暗い分は例えば電球をLEDに変えたりできると思うんですが下はちょっと考えないと雨で滑る、それを私自身も思ってますので、環境がどうしようもないですね。

(委員長)

それではその他へ行きたいと思いますが社会教育課より臼杵読書のまちづくり推進委員会を、続いて臼杵市スポーツ推進計画推進委員会について、読書とスポーツよろしくお願ひします。

11. その他について

(社会教育課長)

それではお手元にペーパーで二枚ご用意いただけてますが、まず一つ目が臼杵読書まちづくり推進委員会設置要綱、と裏面に委員名簿が入ってると言う風に思います。臼杵読書まちづくりの計画につきましては、昨年度策定ということで本委員会でもご議論いただきまして、今年度28年度から実施という風になってます。この策定にあたりまして、関わっていただきました委員の方々の方から策定だけでなく、計画の推進状況それから進行管理それぞれ事業そのものについても関わりを持っていきたいというお話をいただいた中で計画策定時に未広の推進委員の設置を、という形の案をいただきながらやっています。今回設置要綱を定めてましてまた二名空きますが、推進委員という形で定めさせていただきます。数名の方々につきましては人事異動、また各団体等の役職の変更ということがありますので、変わっている方もおりますが構成につきましては策定委員会の時の構成をそのまま報告させていただいております。そういう形で今年度力を入れて取り組んで行きたいと思います。併せて、もう一枚のペーパーは、今回策定したものですが同じく27年度臼杵市スポーツ推進計画です。こちらにつきましても同様であります。同じく、策定に関わっていただきました委員の方々より指名をいただいておりますので今回要覧に書いてある通りですね設置要綱を定めまして、教育長が委嘱して委任すると言う形で取りながら事業の推進にそれぞれの委員の方々が少しずつまた進行管理を行っていこうと言うことになっています。ご覧いただければという風に思いますが今後ですね、第一回体育委員会開催してですね、取組をしていきたいと考えている次第です。以上です。

(委員長)

以上で、次第6を終わり、これをもちまして、4月定例教育委員会を閉会します。

会議録署名委員

会議録署名委員

会議録作成者
